

「全員野球」

加良部少年野球クラブ



ぼくたち加良部少年野球クラブは小学2、6年生の計24人で、毎週土・日曜日、祝日に新山小学校のグラウンドで活動しています。練習は5・6年生のAチームと2、3年生のBチームに分かれて、キャッチボール、守備練習、打撃練習を行います。

ぼくたちが目指しているのは「全員野球」。チームメイト全員が勝利に向かって団結することが大切だと考えています。そのために普段の練習から、打球や打撃のフォームをチームメイト同士でアドバイスし合っています。そのかいあって成田ニュータウン春季大会で優勝できました。

しかし、成田市少年野球連盟秋季大会では3回戦で負けて悔しい思いもしました。「1アウト満塁のチャンスの場面を生かせない」「力んでしまってバッティングのフォームが崩れてしまう」など、反省点が残りました。練習でできていることが試合でも発揮できる



小嶋 純也 キャプテン(6年生)

サッカーの人気に押されがちな野球。ぼくたちと一緒に野球をする仲間を募集中です。



緩急をつけた投球



ボールに意識を集中させてスイング

ように、今まで以上に守備や打撃の一つ一つの練習の意味を意識して練習しています。

練習以外にも、夏合宿やプロ野球観戦などのイベントがあります。その中でも特にみんなが楽しみにしているのは夏合宿。九十九里に2泊3日で行きます。チームメイトと泊まれるのも楽しみの一つ。合宿が終わると仲間同士の絆はもっと深くなった気がします。

試合で負けて悔しかったり、思い通りのバッティングや打球ができなかったりすることもありますが、支えてくれるコーチやチームメイトの存在は大きいです。これからも全員野球でチーム一丸となって勝利に向かって練習していきたいです。

「自分らしさを作品に」

わたしたち「フラワーキルト」は、第1・3金曜日には八生公民館でパッチワークキルトなどを楽しんでいるサークルです。公民館主催の教室をきっかけに結成され、今月で22年目を迎えました。メンバーは女性8人で、指導は菅原恵子先生にお願いしています。

パッチワークとは、布などを継ぎ合わせて模様を作ること。キルトとは、布と布の間に綿などを挟んで、三層に重ねた状態で縫い合わせる。わたしたちは、これらの方法を組み合わせ、ポーチやタペストリー作りなどに取り組んでいて、今は、ショルダーバッグを作っています。

製作はまず、先生が手作りの見本を参考に、自分の作品の出来上がりをイメージして生地を選びます。その後、型紙に合わせて生地を裁断



生地選びがポイント

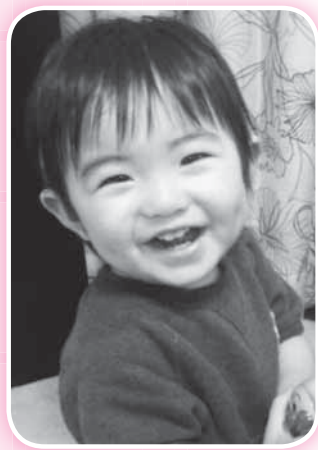
し縫い合わせていくのですが、生地の色・柄・質感の違いなどでそれぞれ趣が異なってくるため、同じ型紙からでも、一人一人の個性が反映された作品が仕上がります。

フラワーキルト

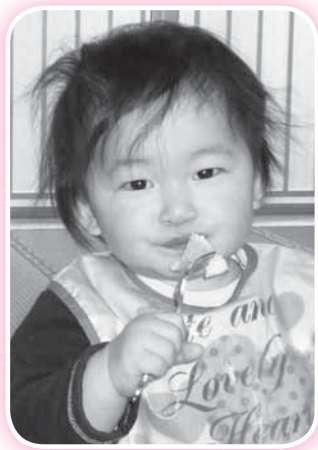


多彩な模様のタペストリーとともに

作品には、着なくなった服など、家で不要になった布を再利用することもあります。パッチワークキルトには、新しくものを作り出す喜びに加えて、使い古しの身の回りのものが生まれ変わる面白さを感じられる魅力もあります。「フラワーキルト」では、初心者には、先生やベテランメンバーが丁寧に指導します。やってみてみたい気持ちと時間さえあれば、楽しめること請け合いです。興味がある人は、ぜひ一緒に活動してみませんか。



秋原 悠斗くん(1歳)西三里塚
笑顔100%!!これからたくさんの笑顔を見せてね!



石井 仁菜ちゃん(1歳)並木町
食べるの大好き!いつもニコニコ笑顔がとってもカワイイです☆



高倉 悠生くん(2歳)江井須
もぐもぐ、ぱくぱく。食べるの大好きです。

このコーナーには市内在住で満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの一枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
○問い合わせ 広報課 ☎20-1503